

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：株式会社 マスネットワーク	所在地：長野県松本市中条 1-14
評価実施期間：平成29年12月1日から平成30年2月21日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050192 060861 060773 050231	

2 福祉サービス事業者情報（平成29年12月現在）

事業所名： （施設名） 阿南町立 富草保育園	種別： 公立保育所
代表者氏名： （管理者氏名） 保育園長 岡田 六久	定員（利用人数）：45名
設置主体： 経営主体： 阿南町	開設（指定）年月日： 昭和44年4月1日
所在地：〒399-1505 長野県下伊那郡阿南町富草3935番地	
電話番号： 0260-22-2109	FAX番号：0260-22-2109
ホームページアドレス： http://www.town.anan.nagano.jp/	
職員数	常勤職員：3名 非常勤職員 6名
専門職員	保育士 3名 保育士 5名
	調理師 1名
施設・設備 の概要	(設備等)

3 理念・基本方針

阿南町の教育方針の理念である『ともに学び、ともに育み一人ひとりが輝き、健康で豊かに生きる町・あなん』を基本とし、スローガンである『学力・考動力の向上を目指す町—あなん』を基に、その幼児教育方針として、『子ども一人ひとりを大切にし、保護者から信頼され地域に愛される保育園を目指し、豊かな人間性を持った子供を育成する』こととする。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

のんびりした田舎の自然豊かな環境の中に位置する当保育園は、周辺の自然を利用した散歩などの屋外行事を取り入れ、近くにあるお寺・施設または周辺の田・畑などの見学を兼ねる行事ができる。散歩途中には、周囲の住民の方たちの温かな声掛けをいただくなどのふれあいもある。

また、園の行事には地区を代表する役職の方や隣接する小学校など、進んで交流・協力をいただくなど心の通うお付き合いをいただいている。

少人数ながら、町内にある他の保育園児との交流もあり、和やかな交流会もできる。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回初受審
---------------	-------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○地域との関係

町の幼児教育方針には「一人ひとりを大切にし、保護者から信頼され地域から愛される保育園を目指す。」としている。子ども達は豊かな伝統文化に触れ、文化祭など地域の行事に参加している。民生・児童委員・老人クラブ・ボランティア、町会議員等との交流もあり、散歩に出かければ、町民からは声を掛けられ農家からは食育につながる野菜づくりにも協力を得られ交流が深まっている。また、近くの高齢者施設を訪問し、子どもたちが歌などを披露して喜ばれている。

○日々の保育

定員が45名で、各クラスの人数も少なく、子どもたちと保育士がなごやかな雰囲気の中で生活している。保育課程に基づいて、特色ある保育めざしており、日々の散歩では自然とふれあい、生き物や草木に興味を持つよい機会となり、歩くことで健康作りにも役立っている。また、食育にも力を注ぎ、年間給食計画・年齢別食育計画があり、年齢に応じて食事の大切さや栄養のこと、食事のマナーなど、給食の時間を楽しみながら学んでいる。

◇特に改善する必要があると思う点

○職員一人ひとりの育成に向けた取組み

職員一人ひとりの年間指導計画案に、保育目標が記載され保育士の自己評価を行っている。今後、保育理念・保育方針等を踏まえて「期待される職員像」を明確にして、目標管理シート等を作成された上でチーム・職員個々の目標を設定し、施設長・主任等の個人面接を行い、進捗状況や目標達成度の確認等の取組みを期待する。

○マニュアルの整備

一人ひとりを大切にする保育は子どもを受容し、子どもが安心して生活できるよう、日常的に実践されている。さらに、より質の高い保育を目指して、整備されていないマニュアルの作成が求められる。地域との関係においては、実習生やボランティアの受け入れ、子どもを尊重した姿勢を明確にするために、職員一人ひとりの倫理観・人間性・職務の責任・自覚を基盤とした「倫理綱領」「子どものプライバシー保護」「虐待防止」等のマニュアルを整備されることを期待したい。特に、プライバシー保護と虐待防止に関しては、早急に検討して作成されることが望ましい。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目(別添1)

内容評価項目(別添2)

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合(別添3-1)

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

平成30年3月28日 記載

保育業務に関する研修会にそれぞれ参加はするが、どうすればいいか、何が当施設運営にかけており、何かできているのか、自分たちでわからない部分を、遠方より来られて限られた時間の中で、体験・探求・指導をいただき、大変良い機会となりました。やはり、どのような職員たるべきかをイメージし、見直していく。志を同じくするチームにて施設を良くしていく姿勢は大切である。

それには、基本となるものを作ることが大切であり、皆で常に意識統一をすることで同じ方向を向いて進めるのであると思う。一つひとつ欠けているものを補い、よりよい施設になるように心がけたい。